

12月15日：大型株を中心に上昇

木曜日にベトナム株は続伸、大型株が相場を牽引した。

ホーチミン取引所のVN指数は0.47%高の1,055.32ポイントで取引を終えた。

出来高は7.3億株で売買代金にして12.3兆ドンであった。

228銘柄が上昇したのに対して181銘柄が下落した。

VN30指数採用銘柄では、19銘柄が上昇、8銘柄は下落した。

同指数は1.13%高の1,068.08ポイントで取引を終えた。

大きく上昇したのは、アジアコマーシャル銀行(ACB)、ベティンバンク(CTG)、BIDV(BID)、ペトロベトナムガス(GAS)、ホアファットグループ(HPG)、FPTコーポレーション(FPT)、SSI証券(SSI)、ビナミルク(VNM)、VPバンク(VPB)、マサングループ(MSN)、モバイルワールド(MWG)、サコムバンク(STB)などであった。

一方、ビンホームズ(VHM)、ビンググループ(VIC)、ファットダット不動産(PDR)、バオベトホールディングス(BVH)、TPバンク(TPB)、ビンググループ(VIC)、ビンコムリテール(VRE)などが下落した。

FPTは11月の売上が1.14兆ドン、純利益が6,140億ドンだと発表した。

年初来の11か月で、同社の売上は39.24兆ドン、税引き前利益は7.17兆ドンに達し、それぞれ前年同期比で23.4%、22.5%増加した。

セクター別では25のセクターの内の15セクターが上昇した。

ハノイ取引所のHNX指数は0.12%安の212.95ポイントで取引を終えた。

出来高は7,150万株で売買代金は1兆ドンほどだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。